

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名				コード	19000	食生活改善推進事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	担当班	支援班
基本施策				5	保健の充実	根拠法令	健康増進法	一般	4	1	2	☒ 主な事業		
施策の展開				11	健康づくりの推進	戦略事業	47	食生活改善推進事業				☐ 国土強靱化地域計画		
施策の展開						戦略事業						☒ 新市建設計画		
												☐ 定住自立圏構想		
												☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		・保健推進員が塩分濃度測定器を用いて家庭で作られた味噌汁の塩分濃度を測定し、減塩に関するパンフレットの配布を行って啓発を行う。 ・保健推進員が学校や地区の集会などの場を利用して、健康メニューの試食提供や紙芝居を行って、健康づくりの知識を広く市民に伝える。 ・小さいころから自らの食について、考える習慣や知識を習得するために食育事業を行う。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
昭和58年に婦人の健康づくり推進事業に食生活改善推進員の教育事業が加わり、さらに平成9年地域保健法により義務化されたため。旧市町での開始時期は不明。		・平成15年に栄養改善法が廃止され、健康増進法に移行された。 ・平成17年に食育基本法が施行された。 ・対象者は、生活活動量の減少や食生活の欧米化が進み、生活習慣病とその予備群が大幅に増加している。 ・ほとんどの推進員が1期で交代するため、知識や経験が不足しがちである。		・地区伝達活動を実施した学校や地区高齢者グループから好評を得ている。 ・次年度もまた開催してほしい等の要望がある。 ・地区伝達活動実施後、別の場所で会っても参加者から推進員に声をかけてくれる。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)		単位:千円	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
1.消耗品費	191	地区食生活改善活動材料代等	千円	224	252	269	191	257
2.手数料	50	腸内細菌検査手数料	千円	58	58	52	50	64
3.通信運搬費	14	腸内細菌検査容器郵送料	千円	16	16	14	14	16
4.通送料及び駐車料	18	千葉県食生活改善協議会中央研修会道路通送料	千円	0	0	0	18	9
5.その他	8	テント借上料	千円	0	38	8	8	8
② 特定財源の内訳(27年度の決算)		単位:千円	事業費計(A)					
1.国庫支出金	0		千円	298	364	344	281	354
2.都道府県支出金	0		千円					
3.地方債	0		千円					
4.その他	0		千円					
			千円	298	364	344	281	354

前年度増減理由	地区伝達講習会、食育事業の実施回数が例年よりも少なかったため
---------	--------------------------------

従事職員数	常時	1人	最大	2人	×	1日	=	延べ	2人
-------	----	----	----	----	---	----	---	----	----

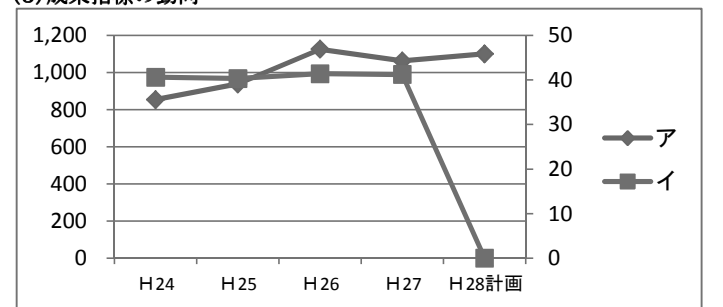
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)								
目的	・家庭の味噌汁塩分濃度測定の実施 ・学校や地区集会などの機会を利用し健康メニューの試食提供や健康教育(講話等)の実施		ア 地区伝達講習会等の実施回数	回	19	18	19	18	19
			イ 食育学習の実施回数	回	11	12	11	8	10
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象 市民 意図 市民が望ましい食生活を実践できるようになる。		ア 地区伝達講習会等への参加者数	人	854	938	1,125	1,062	1,100
目的	対象意図		イ 塩分が原因となる疾病がある人の割合(収縮期血圧基準値以上の者)	%	40.6	40.3	41.4	41.2	減少

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果優先度	成果向上余地
	ある程度		コスト比率
	ほとんどない		下位 1/3
			中位 1/3
大きい	ある程度	①	上位 1/3
	ほとんどない		
普通	ある程度	②	
	ほとんどない		
小さい	ある程度	③	
	ほとんどない		
	ある程度	④⑤	(4)
	ほとんどない		
	ある程度	⑥	
	ほとんどない		
	ある程度	⑦⑧	
	ほとんどない		
	ある程度	⑨	
	ほとんどない		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難	
	【コメント】(停滞・実施困難の場合、その理由)		
	② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下
	【コメント】(低下の場合、その理由)	高血圧となる原因は、塩分以外にも考えられ、長年の食生活習慣を改善することは、短期間では難しい。	
評価内容	③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容
		H28.4月～	委嘱替え(任期2年)により、大部分の保健推進員が新規のため、昨年度と同様の活動を行う。
			今後の方向性
			☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他 ()
		産業まつり開催 日本人の食塩摂取量への寄与が最も大きい醤油の使用量を減らすため、イベント参加者にしょうゆ用スプレー容器を配布し啓発を行う	